



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
釧路市役所内

電話 0154-31-4255

直通電話・Fax 0154-23-2101



つづやき

井須ドクターの診察室

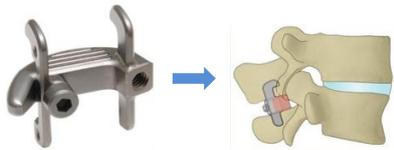
第9回



釧路労災病院
脳神経外科部長
井須豊彦

ブロック治療の専門家と思われているようで、ブロック治療のみを希望する患者さんが時々、私の外来を受診します。先日、仙腸関節ブロックを希望して他院から紹介された患者さんを診察、精査したところ、仙腸関節障害ではなく腰椎病変とわかり外科治療を施行しました。患者さんに「先生はブロック治療の専門家と思っていましたが、外科医だったんですね」と言われました。「昔から私は脳神経外科医であり、ブロック治療専門医ではない」とつぶやいてしまいました。

2年程前から、私は「間欠性跛行を呈する腰部脊柱管狭窄症に有効である腰椎制動術と言う低侵襲手術」に熱心に取り組んでいるのですが、患者さんにはその良さがなかなか理解してもらえません。



Swift システム
棘突起間スペーサーによる腰椎制動術

先日、私の外来を受診した腰部脊柱管狭窄症の患者さんに腰椎制動術手術の説明をしたところ、セカンドオピニオンを希望されました。「私の提案した手術法は低侵襲で素晴らしい手術法だと患者さんに力説すべきであったか」と思い悩みました。

「他人（患者さん）のふりみてわが身を知る」名言だといふやきました。

*腰椎制動術の利点

- (1) 間欠性跛行を呈する腰部脊柱管狭窄症例に適応
- (2) 椎弓や黄色靭帯の切除を行わず、神経を露出しない手術法であるため、安全な手術法である
- (3) 局所麻酔下の手術が可能
- (4) 術後、数日で退院が可能
- (5) 血をサラサラにする薬を止めなくても手術が可能
- (6) 心臓病、腎疾患、高齢のため、全身麻酔のリスクが高い患者さんにも対応が可能